

# 小麦づくり情報 4月号

村山総合支庁 農業技術普及課

出穂期は平年早い5月2日頃と見込まれます。  
今後、高温で経過するとさらに出穂が早まる可能性があります。  
圃場毎に出穂状況をよく確認し、適期の防除と追肥を行いましょう。

## 1 赤かび病防除は必ず実施！

赤かび病は出穂後の穂に感染し、多発すると収量及び品質を低下させます。また、赤かび病菌は、人の健康を損なうデオキシニバレノール（DON）等の**かび毒**を産生します。農産物検査において、**赤かび粒**は混入してはいけません。

**安全で安心な小麦生産のため、必ず防除を行いましょう。**

＜防除時期の目安＞

出穂期：全穂数の40～50%が出穂 5/2頃

↓約7日後

開花期：全穂数の40～50%が開花

**1回目防除** 5/9頃

↓約7～10日後

**2回目防除** 5/16～19頃

**赤かび防除は適期散布が最も重要です！**

防除時期	1回目：開花期（出穂期の約7日後） 2回目：開花期の7～10日後
使用農薬 (いずれかを使用)	シルバキュアフロアブル、チルト乳剤25、トップジンM水和剤、トップジンM粉剤DL

※耐性菌の出現を防ぐため、チルト乳剤25とシルバキュアフロアブルの連用は避けましよう

## 2 追肥で小麦の品質・収量を高めましよう！

強力粉として適正なタンパク質含有率（11.5～13.0%）を確保し、収量を高めるために追肥を行いましょう。

### ①減数分裂期

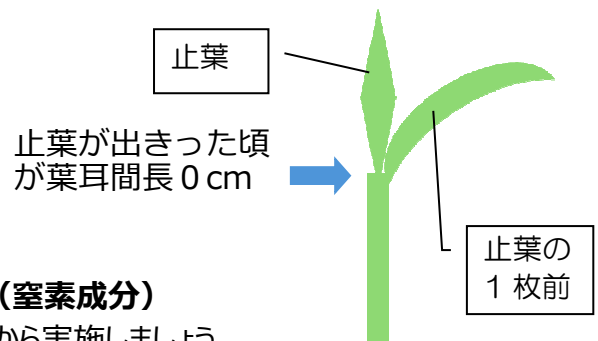
出穂8～10日前の葉耳間長0cmの時期に2kg/10a（窒素成分）を施用しましよう。

### ②穂揃期

圃場の80%の穂が出た時期に草丈が90cm以下かつ

止葉の葉色がSPAD値44以下の場合、2kg/10a（窒素成分）

を施用しましよう。倒伏しやすいため、生育診断を行ってから実施しましよう。



## 春季農作業事故防止啓発運動 展開中 4/10～6/10

小麦だけでなく、水稻や野菜・果樹など様々な管理作業が重なる時期です。農作業は計画的に、ゆとりをもって、安全第一で行いましよう。

**日頃からの作業安全を意識して、農作業事故を防止しましよう！**



問合せ先／村山総合支庁産業経済部農業技術普及課（TEL：621-8294）